
世界の真理

双姫

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

世界の真理

【Nコード】

N0766L

【作者名】

双姫

【あらすじ】

ちよつとネガティブになってみました。特に意味はありません。強いていうなれば、私のモットーと言うか、自己防衛策というか。

詩を描くつもりでぶちまけたのですが・・・どうしてこうなったっ！？

(前書き)

誰もが一度は思ったこと・・・というのは、言い過ぎかな?でも、私は常に思っています。

・・・まあ、単に私がネガティブで人間不信、というだけの話ですが。

『神の子』と呼ばれた少女の、最期の言葉。

それは世界の真理にして、本質。

.....

『闇の中に、星が3つ見える』

この状態が本質だとしたら・・・
あなたは、そこに何を見いだす？

さしずめ・・・闇はこの世界、星は人の心の美点、とでも言つつも
りでしょうね。

他の『コタエ』に比べたらだいぶ近いけど、やはりそれは単なる『
願い』に過ぎない。

人間の・・・世界の本質とは、あまりにもかけ離れているんだよ。

・・・あたしはね。『それ』は『錯覚』だと思うの。
人間にも、この世界にも・・・純粋な『美点』なんてないもの。

一人が『美点』だと思ったものが、他の人からしたら汚点にしか思

えない、なんて・・・よくある話、でしょう？

世界には、闇しかない。

だけど、人間はそんなの認めたくないから、自分にも『美点』があると
思いたいから・・・自分と同じところから来る考え方を、『美点』だと考える。

・・・『闇の中に、星が3つ見える』。

これこそが、世界の真理にして、本質。

ようするに・・・

この世界に、いいところなんてないんだよ。

・・・

少女の言葉は、世界に響く。

・・・それは、少女の最期の『呪い』。

(後書き)

良かったら、感想などお願いします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0766/>

世界の真理

2010年10月19日14時25分発行